



文化館インフォメーション

読書の秋



よく「読書の秋」と言いますが、なぜ「読書の秋」という言葉が使われるのでしょうか？一般的には秋の過ごしやすさや夜の長さを表す言葉として知られています。

「読書の秋」という言葉は8世紀ごろ、中国の唐王朝の時代に活躍した『韓愈（かんゆ）768～824年』という詩人が読んだ漢詩に由来すると言われています。

「時秋積雨霽 新涼入郊墟 燈火稍可親 簡編可卷舒」

「時、秋にして積雨（せきう）霽（は）れ 新涼（しんりょ）郊墟（こうきょ）に入（い）る 燈火（とうか）稍（ようや）く親（し）む可（べ）く 簡編（かんぺん）卷舒（けんじょ）す可（べ）し」 出典：「符讀書城南」（『全唐詩』341巻）

〔訳〕秋の長雨もやみ空が晴れ渡る頃、初秋の涼しさが郊外の丘にも広がり始める。

ようやく夜の灯に親しんで、書物を広げられる。

※「符讀書城南」詩は「韓愈」がその子「符」に、学問の大切さを諭したものとされています。

この詩を明治の文豪夏目漱石が1908年に発表した小説『三四郎』のなかで引用したことで、秋は読書をするイメージが一気に日本中に広まり、「読書の秋」という言葉が定着した、という説が有力となっています。



秋の企画展示【秋のひろば】です★
秋にちなんだ絵本がたくさん!!
大人も子どもも楽しめます!!
展示してある秋の本を借りてくれた
子どもさんには、なんと！ゲームの
挑戦権が!!
さあ！家族みんなで図書館に行っ
てみよう!!ほかにポプラディアの辞
典を使ったクイズもあるよ☆

大人の方には小説コー
ナーにて【旅と小説】を展示中
です。小説で旅気分を♪



10/27～11/7は1947年か
ら続く【読書週間】です。

今年のスローガンは

「こころとあたまの深呼吸」

これを機にぜひ図書館にくつろぎ
に来ませんか？

現実から離れて

心と頭のリフレッシュを!!

図書館ではシステムの更新に伴い、パソコン
やスマートフォンから図書館の蔵書検索・予
約ができるようになりました！

利用してみたい方は
図書館にお越し下さい!!
待ってるでやんす!!



図書館のイベント

- ・乳幼児リトミック教室
11月 5日（水）10:30～11:30
- ・乳幼児おはなし会 のんたんの部屋
11月12・19・26日（水）



美術館（展示の紹介）

10月11日～11月30日まで、「棚町宜弘日本画展
—日本画家が見た南部の魅力—」を開催いたします。
日展作家棚町宜弘が愛した南部の郷土と、日本各地
の魅了する風景画展です。

入場料は、大人300円・中学生以下200円とな
り、常設展と併せてご覧いただけます。

多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

（◆イベント・講座の問い合わせ ☎0556-62-9292）南部図書館 までお願いします。

今月の新刊情報

百年の時効

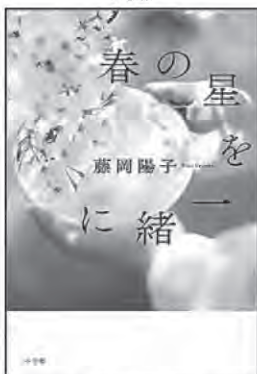
伏尾 美紀 著
幻冬舎



真犯人を捕らえるその日まで、刑事たちの昭和は終わらない。半世紀にも及ぶ執念の捜査が始まる。

春の星と一緒に

藤岡 陽子 著
小学館



緩和ケア病棟を舞台に、温かな視線で人々の生き様を紡ぐ、救いと慈愛に満ち溢れた医療小説。

あなたが僕の父

小野寺 史宜 著
双葉社



父の介護をきっかけに東京から実家に帰省した息子。なにげない日常を描く切なくて愛おしい家族小説。

花咲く街の少女たち

青波 杏 著
講談社



ひとは、民族や、仕事や、性別に関係なく、愛に生きることができると？不自由に囲まれた少女たちの切なくも美しい青春物語。

天下の値段

享保のデリバティブ
門井 慶喜 著
文藝春秋



国家の命運は米価で決す。世界初の先物取引所で繰り広げられる、享保の知られざる米騒動。

人間には12の感覚がある

動物たちに学ぶセンス・オブ・ワンダー
ジャッキー・ヒギンズ著、夏目 大訳
文芸春秋



五感、第六感どころではない。私たち人間は12もの「超感覚」を持つ。21世紀の進化版「センス・オブ・ワンダー」遂に誕生！

9月1日の朝へ

柳月 美智子 著
双葉社



父親と、三人の母親と、四兄妹。それぞれにスポットを当て、目まぐるしく移ろうひと夏の情緒を描く短編集。

ベスト・エッセイ2025

日本文藝家協会 編著
光村図書出版



忘れがたい一日、忘れえぬ人、代替のきかない関係、うつく瞬間、そんな「今」の連続がこの一冊には詰まっている。

ラフカディオ・ハーンが愛した妻 小泉セツの生涯

櫻庭 由紀子 著
内外出版社

明治時代の日本で、怪談を生み出したラフカディオ・ハーン（小泉ハ雲）。物語の原案は、妻であるセツの語りによるものだった。

2人はいかにして出会い、結婚し、物語を生み出すまでになったのか。それぞれの幼少期や青年期、セツが語る物語や怪談のルーツについて丁寧に描く。



NHK連続テレビ小説 『ばけばけ』関連本



小泉ハ雲日本の心

ラフカディオ・ハーン著、和田 久實監訳
彩図社

ハ雲が一世紀前に日本で見出した「共生の美学」というテーマは、現代の地球的課題にもなっている。明治日本のかけがえのない理解者、小泉ハ雲が愛した「伝統的な日本人の心」について紹介する、小泉ハ雲再発見の書。

